

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名

徳島都市開発株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

第42期決算（令和3年1月期決算）において、債務超過額が1,027,405千円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

	第42期 (R3.1.31)	第43期 (R4.1.31)	第44期 (R5.1.31)	目標達成 第53期 (R14.1.31)
債務超過額(千円)	1,027,405	1,630,139	1,907,319	0

○主な取組状況（令和5年7月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・令和4年4月に「三越徳島」が正式オープンし、同年9月に「徳島県青少年センター」が移転完了するなど、各種テナント・施設が順次開業し、商業系テナントが概ね出揃った同年12月に「リニューアルオープン」し、令和5年5月には「グランドオープン」した。
- ・「三越徳島ギフトセンター」や「日本の味めぐり」等の物産展の開設、「1円以上お買い上げの方駐車料金サービス」の実施、また、「アミコドーム阿波おどりフェスタ」等のアミコドームを活用したイベントの実施により集客に努めた。
- ・「アミコラインパーク」及び「徳島駅前西地下駐車場」の料金所無人化により、利用者の利便性が向上するとともに、経費削減につながった。
- ・令和4年9月に「アミコ専門店街・アミコ東館」の専用ホームページを新たに開設したほか、既存のSNSを活用し、利用者への情報配信を拡充した。
- ・「阿波おどり会館及び眉山ロープウェイ」の指定管理者公募に当社と公益財団法人徳島市文化振興公社が「阿波おどり未来継承まちづくり共同体」を結成して応募し、令和5年4月から5年間の指定管理者に選任されたことにより、新たな収入源を確保できた。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・市幹部職員が取締役及び監査役として経営に関与するとともに、定期的に経営状況報告を求め、経営状況を確認した。
- ・アミコビルに入居する市有施設について、子育て支援機能の強化を図り、子育て世代の集客を図るため施設リニューアルを行った。
- ・アミコビルの新たな活用策として、本市が参加する「はぐくみ徳島実行委員会」が主催する子ども向けイベントを6階催事場で開催した。
- ・アミコビル再生への取組等について、「広報とくしま」による周知を行った。

○法人の財務状況

	項目	金額（千円）		
		第42期 (R3. 1. 31)	第43期 (R4. 1. 31)	第44期 (R5. 1. 31)
貸借対照表から	資産総額	4,900,694	5,231,824	6,232,290
	（うち現預金）	1,589,720	1,126,664	1,249,420
	（うち固定資産）	3,217,478	3,696,611	4,734,710
	負債総額	5,928,100	6,861,963	8,139,609
	（うち徳島市からの借入金）	1,117,516	2,117,516	2,117,516
	純資産額	△1,027,405	△1,630,139	△1,907,319

	項目	金額（千円）		
		第42期 (R2. 2~R3. 1)	第43期 (R3. 2~R4. 1)	第44期 (R4. 2~R5. 1)
損益計算書から	売上高	1,414,597	995,262	2,010,632
	売上原価	1,516,249	1,515,719	2,193,510
	経常損益	△222,235	△864,425	△288,224
	特別損益	△5,117,838	0	141,425
	税引前当期純損益	△5,340,073	△864,425	△146,799
	当期純損益	△5,510,486	△602,733	△273,841